



Q：体がだるくて、何かをする気力がありません（35歳女性・会社員）

A：体のだるさは、いろいろな病気でみられる症状ですが、気を付けなければいけない病気の一つに「橋本病」（慢性甲状腺炎）があります。これは、甲状腺の機能が低下する自己免疫病の一つです。甲状腺は、首の前面のやや下方にあり、甲状腺ホルモンという、代謝を高めるホルモンを作り出す臓器です。

橋本病は、30〜40代の女性に多く、症状はだるさ・気力の低下・むくみ（指で押してもへこみが残らない、特殊なむくみ方）・寒がり・徐脈・

肌荒れ・脱毛・食欲低下・便秘など。そのせいで怠け者のレッテルを貼られたり、うつ病と誤診断されるケースもあります。甲状腺の病気が原因だと認識し、しっかり治療することが重要です。

診断は、触診と血液検査で行います。これは特殊検査で、通常の一般血液検査には含まれません。ですから、まずこ



の病気を疑って、検査を受けることが重要です。治療は、甲状腺ホルモン剤の内服による、ホルモン補充療法になります。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801